

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－１

1. 市町村教育委員会等の名称

:

住所 : 熊本市中央区手取本町1番1号

代表者職・氏名 : 熊本市教育長 遠藤 洋路

2. 取組の名称

: 平成30年度熊本市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

熊本市小中一貫教育・幼小中連携教育ポリシーに基づき、教育委員会が主体性をもち、全市的な方向性を明確に示す。具体的には、モデル校への指導・助言や人的・物的支援と、小・中学校への指導や支援の両面で本事業を推進し、全市的な幼小中連携の推進と平成31年度の小中一貫型小学校・中学校の設置につなげる。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成30年度）

4月	・小中連携モデル校担当者会・合同研修会 ・小中連携教育カリキュラム（熊本市スタンダード）の配付
5月	・平成30年度第1回幼小中連携教育担当者会
6月	・幼小中連携の日（全市一斉開催）
7月	・平成30年度第1回熊本市小中一貫教育作業部会
8月	・平成30年度第1回熊本市小中一貫教育検討委員会 ・平成30年度第2回熊本市小中一貫教育作業部会
9月	・平成30年度第2回熊本市小中一貫教育検討委員会
10月	・平成30年度第3回熊本市小中一貫教育作業部会
11月	・モデル校授業公開
12月	・平成30年度第4回熊本市小中一貫教育作業部会 ・小中一貫校開校に向けた説明会
1月	・幼小中連携の日（全市一斉開催） ・小中一貫校開校に向けた説明会

2月	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル校授業公開 ・平成30年度第2回幼小中連携教育担当者会 ・小中一貫校開校に向けた説明会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校開校に向けた説明会

(3) 取組の成果

- ・各中学校区を単位として幼小中連携教育を推進したことで、幼小中の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まり、互いのよさを取り入れる意識も高まった。また、小・中学校で共通実践の取組が増えた。
- ・先進校の取組を参考にして、「熊本市小中連携カリキュラム（熊本市スタンダード）」を作成したことで、各中学校区での連携カリキュラム開発に活用することができた。
- ・研究モデル校での乗り入れ授業や異学年交流、合同行事等の実践的研究を、市立の幼小中学校の教職員に授業として公開したことで、取組の成果と課題を共有することができた。
- ・モデル校での実践的研究と熊本市小中一貫教育検討委員会での検証を3年間継続したことで、平成31年度の小中一貫型小学校・中学校の設置につなげることができた。

(4) 今後の取組予定

- ・小中一貫型小学校・中学校を平成31年4月に新設し（2つの地域）、9年間を見通した学校教育目標とカリキュラムの作成を行う。また、授業の質的向上をねらい、小学校高学年における教科担任制の取組も行う。
- ・モデル校での研究を今後も継続し、乗り入れ授業、異学年交流及び合同行事等の実践的研究を行い、その成果と課題を検討する。また、その取組内容（成果と課題等）を市立の全小中学校で共有し、波及・拡大の取組を行う。